

お あ
折り合いをつける力を育てる

人間は一人では生きていけません。家族や学校、地域などの多くの人達と関係し合い、支え合って生きていけるのです。児童の皆さんも大人になって、社会の一員として、仕事や責任を果たすこととなります。その時も、一人ではなく、他の人達との関係づくりが大切になります。

小学校では、学級活動の中で、**学級会**(話し合い活動)を行います。例えば、「今度のクラスレクは何をしようか」という議題が出たとします。ある子は、外遊びが好きなので、校庭で遊ぶ「おにごっこやサッカーをやりたい」と意見を出します。ある子は、「正月なので室内でカルタやトランプをやりたい」と意見を出します。このように意見が分かれるのは、大人社会でもあることです。

さて、学級会とは、自分もよくてみんなもよいと思う**折り合い**を付けて集団決定する話し合いです。少数意見にも耳を傾け、それを生かす方法をみんなで考えることが大切です。先ほどの議題の場合は、「今回は正月なのでカルタ大会に決めるが、次回のレクは、外遊びに決めよう」などと、折り合いをつけること、すなわちお互いにかまんで話をまとめることが大切なのです。

話し合いには条件が必要です。例えば次のようにです。

- ①何のためにするのか。何のために話し合うのか。 【目的】
- ②いつ、どこで、何を、どのようにするのか。 【何を話し合うのか】
- ③まとめるまでのみちすじがイメージできる。 【流れ:出し合う→比べ合う→決める】

そして、意見をまとめるにあたり、**折り合い・合意する方法**も知っておくことが大切です。

- ・他を尊重しつつ一つ決める。
- ・いくつかの意見を合わせた新しい考えにまとめる。
- ・ある意見をもとにし、他の意見のよさを加えて合意を目指す。
- ・条件を加えて合意を目指す。
- ・優先順位を付け合意を目指す。
- ・総意(みんなで決めたこと)を気持ちよく受け入れる。



このような折り合い・合意形成する力は、仲良く協働して社会参画できる力に育ちます。ぜひ、ご家庭でも、機会をとらえて、折り合いをつける経験をさせていただければと思います。

(参考:「楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編)」、文部科学省/国立教育政策研究所教育課程研究センター、平成29年9月)

今年の目標

2018年(平成30年)が、始まりました。

新しい年を健康で迎えられたことに感謝し、今年の目標を立てましょう。例えば、次のような例を参考にしてください。

- 「計算や漢字がもっとできるようにする」「宿題や自主勉強を毎日がんばる」(勉強)
 - 「なわとびで二重跳びを100回とぶ」「晴れた日は外で遊んで体力をつける」(運動)
 - 「お家の手伝いをきちんとする」「自分から元気に明るくあいさつする」(生活)などです。
- 自分が関心のあることに目標を立てて、それに向けて努力することが大切です。



勉強、運動、生活について、考えてみましょう。ちょっとむずかしいくらいの目標がいいです。目標をもたない人ともっている人の違いは、行動に表れます。毎日の生活が充実します。3学期は、まとめの学期です。学校に来る日は、53日です(6年生は52日です)。6年生は卒業、1～5年生は進級できるよう、毎日を大切に送りましょう(1/9始業式の話より)。

姉妹校への手紙

代表委員会6年生星野さんが中心となって、姉妹校への手紙を書いてくれました。日本全国の小学校の中で、広沢小という名前の学校が、他に3校あるという縁で、姉妹校として交流を始め、その交流の一環です。手紙の一部を紹介します。

広沢小学校児童の皆様へ（和光市、浜松市、京都市の各広沢小へ送りました）

桐生市立広沢小学校児童会より

みなさん初めまして。「姉妹校」のきっかけとして、お手紙を書かせていただきます。

本校がある群馬県桐生市は、群馬県の東南部に位置しています。東は栃木県足利市と接し、西は赤城山まで達しています。東京には直線距離で約90キロ、車で約2時間ほどで行けます。渡良瀬川と桐生川が流れ、山々が連なり自然に恵まれた街です。

歴史は古く、縄文時代の石器・土器、住居跡が発掘されたり、近くには「岩宿遺跡(みどり市)」もあります。古くから織物の街としても有名です。江戸時代には「西の西陣、東の桐生」とうたわれ、織物の一大産地となりました。のこぎり屋根の織物工場なども残っています。桐生市は、平成17年6月13日に新里村、黒保根村と合併し、面積は2倍に拡がりました。

桐生の名物を2つ紹介させていただきます。1つ目は、桐生が岡動物園です。ここには30種類の動物がいて、入場無料で、いつでも気軽に好きな動物に会いに行けます。1年生の秋の校外学習でも行きます。最近ライオンの赤ちゃんが3頭生まれ、ライオン舎は大人気です。「オリト」「シルク」「つむぎ」という織物にちなんだ名前に決まりました。

2つ目は、ソースカツ丼です。このカツ丼は卵を使いません。他県の人あまり知らないようです。揚げたカツを、ソースだれにくぐらせて、アツアツのご飯にのせて食べます。とてもおいしいです。有名店もたくさんあります。

本校は、桐生市の南にあり、足利市と太田市に接しています。近くに北関東道が通っています。行事では、運動会や持久走大会、親子で楽しむ行事などがたくさんあります。どの行事も多くの方が参加して下さいます。運動会での5.6年生の表現「広沢小七頭舞」は昨年からはまり、勇壮な集団演技は大好評でした。校庭には、つき山やひょうたん池があり、そこにはザリガニがいます。南と西に山、東に渡良瀬川があり、自然豊かな学校です。最後に広沢小学校のみなさんに質問です。私たち児童会のみinnで考えた質問です。本校についての回答もまとめましたのでごらんください。それでは、お返事を楽しみに待っています。

<一部を掲載、答えは桐生市立広沢小の場合>

○ **校舎の特徴を教えてください。**

答え 校舎は3階建。上から見ると四角になっています。中庭は、低学年の畑になっています。

○ **近くに有名なものはありますか。**

答え 隣の市になりますがジャパンスネークセンターがあります。

○ **学校の良いところなんですか。**

答え あいさつがよくできるところです。

○ **6年生の修学旅行の行き先はどこですか。**

答え 鎌倉と八景島シーパラダイスです。宿泊はホテル三日月です。

○ **運動会はいつ行われますか。**

答え 9月中旬から下旬に行われます。

○ **めずらしい給食はありますか。**

答え おっきりこみ、かみなりごはん。

○ **他の中学校へ進む児童は多いですか。**

答え 毎年3名程度違う学校へ進学、6年3クラスのほとんどが隣の広沢中学校へ入学します。群馬はこれから「からっ風」という台風並みの風が吹き、寒い季節になります。かぜやインフルエンザに気をつけて、健康で楽しい学校生活を過ごせるよう願っています。では、さようなら。

